

平成 30 年度防災・日本再生シンポジウム

南海トラフ巨大地震から地域を守る

～防災人材育成と事前復興デザインへの取り組み～

7年前には、千年に一度とも言われている規模の東日本大震災が発生しました。

また、今年に入っても日本が自然災害の多発期に入ったかの如く、豪雨災害、猛暑、台風災害、地震災害と自然災害が頻発しています。

今後発生が予想される自然災害の中でも南海トラフ巨大地震は、その被災規模において群を抜いており、想定被災額は220兆円にも上り、GDP500兆円強の日本を滅ぼしかねません。そのために、私たちが、事前に復興デザインを考えておくことは極めて重要です。

本シンポジウムでは、その事前復興デザインについて、皆さんとともに考えたいと思います。
多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。

- | | | | |
|---|-------------|--|---------------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成 30 年 11 月 13 日 (火) | 13:10~17:00 (受付 12:30~) |
| 2 | 場 所 | 愛媛大学南加記念ホール (松山市文京町3番) | |
| 3 | 定 員 | 200 名 | |
| 4 | 次 第 | | |
| | 13:10~13:20 | 開会挨拶 | 防災情報研究センター長 森脇 亮 |
| | 13:20~14:00 | 基調講演「西日本豪雨災害を考える 人材育成と復興計画づくりの視点から」 | 東京大学大学院工学研究科教授 羽藤 英二 |
| | 14:00~15:20 | 事例報告 | |
| | | (1) ましきラボから考える熊本復興 | 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授 円山 琢也 |
| | | (2) 小高復興デザインセンターと大槌復興支援の取り組み | 東京大学リサーチアドミニストレーター 萩原 拓也 |
| | | (3) ネパール国際復興支援の現場 | 東京大学大学院工学研究科助教 井本 佐保里 |
| | | (4) 愛媛における平成 30 年 7 月豪雨災害と復興 | 愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮 |
| | 15:30~16:50 | パネルディスカッション「災害復興の現場から考える」 | |
| | | コーディネーター | 矢田部 龍一 |
| | | パネリスト | 羽藤 英二、円山 琢也、萩原 拓也、井本 佐保里、森脇 亮 |
| | 16:50~17:00 | 閉会挨拶 | 防災情報研究センター副センター長 吉井 稔雄 |
| 5 | 申込方法 | 平成 30 年 11 月 7 日 (水) までに、下記担当までメールでお申し込みください。 | |
| 6 | 主 催 | 国立大学法人愛媛大学 | |
| 7 | 共 催 | 一般社団法人国立大学協会 | |
| 8 | そ の 他 | (1) 本シンポジウムは、本学の代理申請により土木施工管理技士会の継続学習制度 CPDS の単位申請を行う 予定です 。カードリーダーでの履修申請を行いますので、技士会のCPDS 技術者証(磁気帯カード)をご持参ください。 | |
| | | (2) 学内の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。 | |

【担 当】

①参加申込

愛媛大学社会連携課地域創成・防災チーム 若宮・泉

Mail : kensien@stu.ehime-u.ac.jp TEL : 089-927-8974

②シンポジウムの内容

愛媛大学防災情報研究センター・特命教授 矢田部

Mail : yatabe.ryuichi.mu@ehime-u.ac.jp TEL : 089-927-8141